

# 初心者のための米国株の基礎知識

## 購入準備編

**Q** 米国株はどの証券会社でも扱っていますか？

どの銘柄をどうやって取り引きしたかで異なります。このところ国際分散投資への関心の高まりから、外国株や外国の金融商品の取り扱いを始める証券会社が増えています。インターネットで米国株を購入できる証券会社は限られています。取扱銘柄数を続々と拡大中です。米国株の取り扱いの有無、取扱銘柄については、必ず証券会社のホームページ（HP）に掲載されているので確認しましょう。

日本株は上場銘柄であればどの証券会社からでも買えますが、外国株は証券会社によって扱う銘柄が違います。知名度の高い大型株はほとんどの証券会社で扱っていますが、欲しい銘柄をその証券会社で取り扱っているかどうかを必ず確認してください。

また、証券会社の店頭での委託取引は、比較的多くの銘柄に対応しています。ネット証券に比べ手数料はかかりますが、米国株初心者は優良銘柄を長期で保有するのがおすすめです。1回の手数料など気にならないほど、株価の上昇と高配当を享受できる銘柄がたくさんあるのが米国株の魅力です。

**Q** 証券会社に口座があれば、すぐに米国株取引を始められますか？

簡単なログインで始められる証券会社もありますし、別途、外国株口座開設の申し込みが必要な証券会社もあります。口座を開いた時点によって、手続きが違うところもあります。確定申告が不要になる特定口座やNISA（少額投資非課税制度）口座に入るかどうか各社で異なります。各証券会社の最新の情報をお調べください。

手続きや運用は異なるにせよ、最も大事なことは、**外国株取引には為替スプレッドが必要になる**ということ。スプレッドというと金利差のように時点時点で変わるもののように聞こえますが、要は固定の両替手数料です。ネット証券では現在1米ドルにつき片道25銭ですから、現在（2016年9月）のレートだと102万円の投資金額に対して2500円前後でしょうか、米国株購入の際にはこの分も含めて口座に入金しておく必要があります。

売却金額を外貨で受け取れる証券会社もありますが、円に戻すなら為替リスクも発生します。株式購入時点よりも円高ドル安ならば株式の価値は目減りし、円安ドル高になれば株価の上昇以上に収益が膨らみます。

**Q** 取引時間や上場市場はどうなっていますか？

521ページの「米国証券市場の概要」

## ■ 米国証券市場の概要

### 取引時間(東部標準時)

通常取引時間 9:30~16:00 (昼休みなし)

この前後にプレ・マーケット(プレセッション)、アフター・マーケット(ポストセッション)の時間外取引があり、ナスダック市場ではブレが4:00~9:30、アフターが16:00~20:00。ただし、時間外取引は機関投資家が多く、銘柄によっては出来高も少ないため個人の初心者には注意が必要。

上記はニューヨークなど東部標準時で、シカゴなどの中部標準時、ロサンゼルスなどの太平洋標準時など、タイムゾーンの違いにより1~数時間早くなる。

日本時間では 22:30~翌朝5:00  
(サマータイム…3月第2日曜~11月第1日曜)  
23:30~6:00 (標準時間=冬時間)

サマータイムは約8カ月あり、標準時間よりも長い。

### 証券取引所

#### NYSE (ニューヨーク証券取引所)

ナイスと読む。通称ビッグボードと呼ばれる世界最大の取引所。世界一上場審査が厳しい。運営親会社グループが2007年に欧州のユーロネクストと合併。現在は商品や指数、オプションを主力とする米インターコンチネンタル取引所(ICE)傘下。2016年7月現在2330社が上場。

#### NASDAQ (ナスダック)

ハイテク企業が数多く上場している世界最大の新興企業向け市場。市場は以下の3

階層に分かれ、本誌でもこの3階層で表示している。2016年7月現在2877社が上場。

#### ● NasdaqGS

(The NASDAQ Global Select Market)

最も上場審査が厳しい。Global Marketのなかで選別された優良企業が集まる。

#### ● NasdaqGM

(The NASDAQ Global Market)

国際的な優良企業が上場する。

#### ● NasdaqCM

(The NASDAQ Capital Market)

2005年まではSmallCap Marketと称されていた。資本増強途上にある比較的若い企業が集まる。

#### NYSE Arca (NYSE アーカ取引所)

ECN(電子取引システム)を提供していたシカゴの旧アーキペラゴ(Archipelago)証券取引所が2006年NYSEグループ入りして現名称に。現在はグループの完全電子取引所として機能している。ETF(上場投資信託)やETN(上場投資証券)など株や債券以外の取引所上場商品に力を入れ、本誌ETF欄でもその名を確認することができる。

全米には10を超える証券取引所があるが、売買が集中するのは上の3市場上場証券である。

日本の取引所は自取引所の上場銘柄以外の売買はできないが、米国では自取引所以外の上場証券も扱える。統合的なシステムによりあたかも1つの市場のように売買できるため、投資家は売買にあたってどの市場の上場分かを意識する必要はない。

をご確認ください。日本では仕事を終えた夜にリアルタイム取引に参加することが可能です。日本では東証と地方の重複上場の場合など、気配値と売買成立の可能性をにらみながら、どの取引所の上場証券かを選ぶ必要がありますが、米国株ではその必要はありません。

ん。ADR(米国預託証券)やETF(上場投資信託)も個別株同様の手続きで売買が可能です。

**Q** 売買単位(購入最低額)が書かれていません。

米国には日本のような単元株制度はありません。どの株でも1株から買え

ます。株価がその株の購入最低金額となります。

### Q 信用取引はできますか？

外国株の信用取引ができる国内証券会社はありません。外国証券会社に口座を開いて外貨で取引すれば可能ではありますが、外国人の取引を規制していることも考えられます。米国株には**値幅制限（ストップ高、ストップ安）がない**こともあり、初心者はずばり現物取引から始めるのが無難です。どう

しても国内証券で信用取引を行いたい場合は、CFDという、FX（外国為替証拠品取引）のような証拠金取引であれば、売りから入ることが可能です。

### 銘柄選び編

Q ずばり何を指針にすればよいでしょうか。日本の日経225のような代表的な銘柄を教えてください。

代表的な株価指数ということで、「NYダウ工業株30種平均」の構成銘柄を左下に掲げました。本誌では「ダウ30」と掲載して

### ■ NYダウ工業株30種平均構成銘柄

	社名	ティッカー	業種	上場市場
1	アップル	AAPL	コンピュータ	NASDAQ
2	アメリカン・エクスプレス	AXP	金融	NYSE
3	ボーイング	BA	航空機	NYSE
4	キャタピラー	CAT	重機	NYSE
5	シスコシステムズ	CSCO	情報・通信	NASDAQ
6	シェブロン	CVX	石油	NYSE
7	デュポン	DD	化学	NYSE
8	ウォルト・ディズニー	DIS	娯楽・メディア	NYSE
9	ゼネラル・エレクトリック	GE	総合電機・金融	NYSE
10	ゴールドマン・サックス	GS	金融	NYSE
11	ホームデポ	HD	小売	NYSE
12	IBM	IBM	コンピューター	NYSE
13	インテル	INTC	半導体	NASDAQ
14	ジョンソン・エンド・ジョンソン	JNJ	医薬品	NYSE
15	JPモルガン・チェース	JPM	金融	NYSE
16	コカ・コーラ	KO	飲料	NYSE
17	マクドナルド	MCD	外食	NYSE
18	スリーエム	MMM	化学	NYSE
19	メルク	MRK	医薬品	NYSE
20	マイクロソフト	MSFT	ソフトウェア	NASDAQ
21	ナイキ	NKE	スポーツ用品	NYSE
22	ファイザー	PFE	医薬品	NYSE
23	プロクター・アンド・ギャンブル	PG	日用品	NYSE
24	トラベラーズ	TRV	保険	NYSE
25	ユナイテッド・ヘルス	UNH	保険	NYSE
26	ユナイテッド・テクノロジーズ	UTX	航空宇宙・防衛	NYSE
27	ビザ	V	クレジットカード	NYSE
28	ベライゾン・コミュニケーションズ	VZ	通信	NYSE
29	ウォルマート・ストアーズ	WMT	小売	NYSE
30	エクソンモービル	XOM	石油	NYSE

いる同指数は、世界的に活躍する優良30銘柄を、米国の通信社ダウ・ジョーンズが選定して算出しており、1896年からという長い歴史を持っています。銘柄は時勢に即して入れ替えが行われ、最初から現在まで継続しているのはGE（ゼネラル・エレクトリック）だけです。「工業株」（Industrial）という名称ですが、工業関連だけでなくサービス業や金融も含まれています。ダウ算出の指数には、景気に先行する「輸送株」、ディフェンシブ銘柄の「公共株」

もあり、こちらは輸送（鉄道）会社、公共（公益）企業で構成されています。

他にも大型優良株の代表的な指数にはスタンダード・アンド・プアーズが発表するS&P500指数、ラッセル・インベストメンツが発表するラッセル1000指数、ナスダック市場の時価総額トップ100で構成されるナスダック100があります。S&P500銘柄は、日本からは購入できないREIT（不動産投資信託）を除いて、本誌に全銘柄を収録しています。

**Q**「バフェット銘柄」という言葉を聞きますが、何の銘柄ですか？

初心者でも経験者でも、投資は成功例に学んでこれに倣うことが非常に有効な手段です。バフェット銘柄とは、伝説の投資家ウォーレン・バフェット氏の保有する銘柄のことです。会長かつ筆頭株主の世界最大の投資会社バークシャー・ハサウェイ（175ページ、BRK.B）を通じて投資を行うバフェット氏は、今年で齢86歳。11歳から株式投資を始めたと言いますから、投資歴は70年を軽く越え、大富豪となった今は故郷のネブラスカ州オマハで慈善活動を行い「オマハの賢人」と称されています。

さて、バフェット流投資の要諦は、継続的に利益を上げ続ける巨大企業の株を長年持ち続けることに尽きます。具体的にはクラフト・ハインツ（KHC）、ウェルス・ファーゴ（WFC）、コカ・コーラ（KO）、IBM（IBM）、アメリカン・エクスプレス（AXP）、フィリップス66（PSX）で約75%を占めます。

こうした銘柄を、はじめての米国株投資候補に含める手もありますし、バフェット氏に心酔するならば、バークシャー・ハサウェイ株を買えば、ポートフォリオの成果をそのまま手にできるかもしれません。ただし、長期投資が旨とはいえ、当然ながら買い増しや売却が重ねられ、バフェット銘柄は日々少しずつ変化しています。日本語で状況をレポートしているHPも多いので、チェックしてみるとよいでしょう。他にも著名な投資家にはジョージ・ソロス氏やジム・ロジャーズ氏などおり、投資動向や発言はバフェット氏同様に注目されています。

**Q**先ほどから出てくるアルファベットの略称のようなものは何ですか？

銘柄を特定するのに欠かせない「ティッカーコード」（ティッカーシンボル）です。日本でいえば証券コードで、1社に固有の1コードが割り振られ、売買発注の際には必ず必要になります。ただし、証券コードは再上場でもなければ不変ですが、ティッカーコードは社名変更の場合などに変更されることがあります。

**Q**「カルバン・クライン」の香水を愛用しているので投資したいのですが、上場銘柄には見当たりません。日本でも有名なのに、非上場なのでしょうか。

米国では特に、ブランド名とそれを保有する社名とが一致していないことがよくあります。パワーブランドが1つの会社となっていて、M&Aが繰り返された結果です。また、同じブランドでも、化粧品はエスティ・ローダー、

## ■ 特定口座とNISA口座の課税対象の違い

特定口座(源泉徴収あり)	特定口座(源泉徴収なし)	NISA口座
<p>損益通算の対象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国内株・ETFの譲渡益</li> <li>国内株・ETFの譲渡損</li> <li>米国株・ETFの譲渡益(売却益)</li> <li>米国株・ETFの譲渡損(売却損)</li> </ul> <p>源泉徴収後の</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国内株の配当金</li> <li>国内ETFの分配金</li> </ul> <p>米国で課税…10% →日本で課税…20.315%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>米国株の配当金</li> <li>米国ETFの分配金</li> </ul> <p>確定申告で 譲渡益や配当金と相殺・還付</p>	<p>損益通算の対象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国内株・ETFの譲渡益</li> <li>国内株・ETFの譲渡損</li> <li>米国株・ETFの譲渡益(売却益)</li> <li>米国株・ETFの譲渡損(売却損)</li> </ul> <p>(確定申告で通算) 源泉・課税後の配当金・分配金</p>	<p>損益通算の対象</p> <p>(非課税)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国内株・ETFの譲渡益</li> </ul> <p>(非課税)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>米国株・ETFの譲渡益(売却益)</li> </ul> <p>(非課税)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国内株の配当金</li> <li>国内ETFの分配金</li> </ul> <p>米国で課税…10%は残る →日本では非課税</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>米国株の配当金</li> <li>米国ETFの分配金</li> </ul> <p>非課税枠ゆえ確定申告できない (米国課税分は還付されない)</p>

アパレルはPVH、香水はコティというように別会社に所属していたり、ライセンス契約による販売もあります。ブランドが好きというだけで投資するのはおすすめしませんが、気になるブランドの展開戦略や、M&Aによる付加価値向上策、株主還元策などを研究すれば、身近でかつ実りある投資対象となるでしょう。

### 売買注文～損益管理編

**Q** 注文は英語でないといけませんか？

ネット証券ではほとんどの取引が日本語でできるようになっており、日本株と同様のイメージで注文できます。注意点としてはここまでのおさらいで、①米国で証券コードの役目を果たすティッカーコードを用意しておくこと(一部入力からの予測変換や社名からの変換などもできます)、②日本円での運用には為替レートの影響が大きいため、外貨へ両替する(円貨取引の場合は「両替される」)タイミングを

計ること、③発注は1株単位なので、株数を間違えないようにすること、④値幅制限がなく振れが激しいので、成行注文の場合は想定外の価格で約定する危険性も意識しておくこと、⑤売買手数料に為替スプレッド分も加えて口座に入金しておくこと、などが挙げられます。

そのうえで、簡単な英単語としてBuy(買い)、Sell(売り)、Limit(指値注文)、Market(成行注文)、Day(注文日当日の立会時間内で有効)、GTD(指定した日付まで有効)といった程度を覚えておけば、現地からの確認・照会にも対応できます。

外国の証券会社で購入する場合は、手続きも売買もすべて英語です。国内証券会社で委託・店頭取引を行う場合は、窓口で内容を告げれば大丈夫です。

**Q** 譲渡益にかかる税金は米国に納税しなければならぬのですか？

租税条約により現地では課税されず、日本国内で課税されます。税率は日本株と同じく、年間通算損益の

20.315%です。

**Q** 配当はどうやってもらえるのですか。為替小切手をもらっても困ります。

証券会社にもよりますが、証券口座に外貨で振り込まれるところが主流になってきています。配当金は日米で二重課税方式となっています。振り込みの際に、現地課税(10%)、国内課税(現地課税後の20.315%)分が差し引かれます。ただし確定申告をすることで、現地課税分を日本の所得税や住民税から控除する外国税額控除が適用され、還付を受けることが可能です。さらに譲渡益課税分、配当課税分は、確定申告により株式の売却益と損益通算させることが可能です。

なお、日本では配当は年1~2回ですが、**米国株は四半期配当が普通です。また、株主優待はありません。**

**Q** 国内株では確定申告の要らない特定口座を利用しています。米国株も適用できますか？

大手のネット証券では対応済みあるいは近々対応予定です。ただし、配当の現地課税分については、確定申告をしなければ損益通算して還付を受けることはできません。

**Q** 米国株でもNISAを利用できますか？

大手のネット証券では日本株同様に利用できます。ただし、NISA口座であっても、**配当の現地課税分は非課税になりません。さらに、もともと非課税であるNISA口座の損益は確定申告で損益通算することができません。NISA外で損益通算できる口座を持つ**

ている場合は、どちらで運用するか一考の余地があるでしょう。

## 投資情報編

**Q** 自分で投資先の情報を調べる場合には、どのような方法がありますか？

日本企業でもそうでしょうが、まずはその企業のHPを見ることでしょう。IRページはどの会社にもあります。日本企業は事業報告書と有価証券報告書は別々に作成しますが、米国では年次報告書(Annual Report)がそのまま有価証券報告書にあたる「10-K」であったり、最初に事業報告書のようなトピックがあるものの、後半部分は10-Kを付けていることが多いです。

10-Kのような法定開示書類は、SEC(米国証券取引委員会)が管理・運営するエドガー・システム(EDGAR)に収められており、誰でも閲覧することができます。IRページのSEC Filing(SEC提出書類)という項目でEDGARにリンクしている会社がほとんどです。EDGARでは自社HPに収録されていることの少ない10-Q(四半期報告書)やSC13G/A(大量保有報告書)ほか多くの開示書類を見ることができます。



EDGARの画面 <https://www.sec.gov/edgar/searchedgar/companysearch.html>